

趣旨

幕張新都心版MaaSについては、これまでの総会やMaaSプラットフォームWGでの説明のとおり、2022年度下半期に実証実験を予定している。

そのため、6月末～7月上旬に実証事業者の公募を行う想定だが、実証実験の要件整理について早急に会員の意向を把握させていただく必要があり、現時点での幕張新都心版MaaSの検討状況について報告を行う。

本WG終了後、横連携WGに参加される会員を対象にアンケート調査を行うので、事務局にて回答を整理した後、実証実験の基本的要件を確定する予定である。

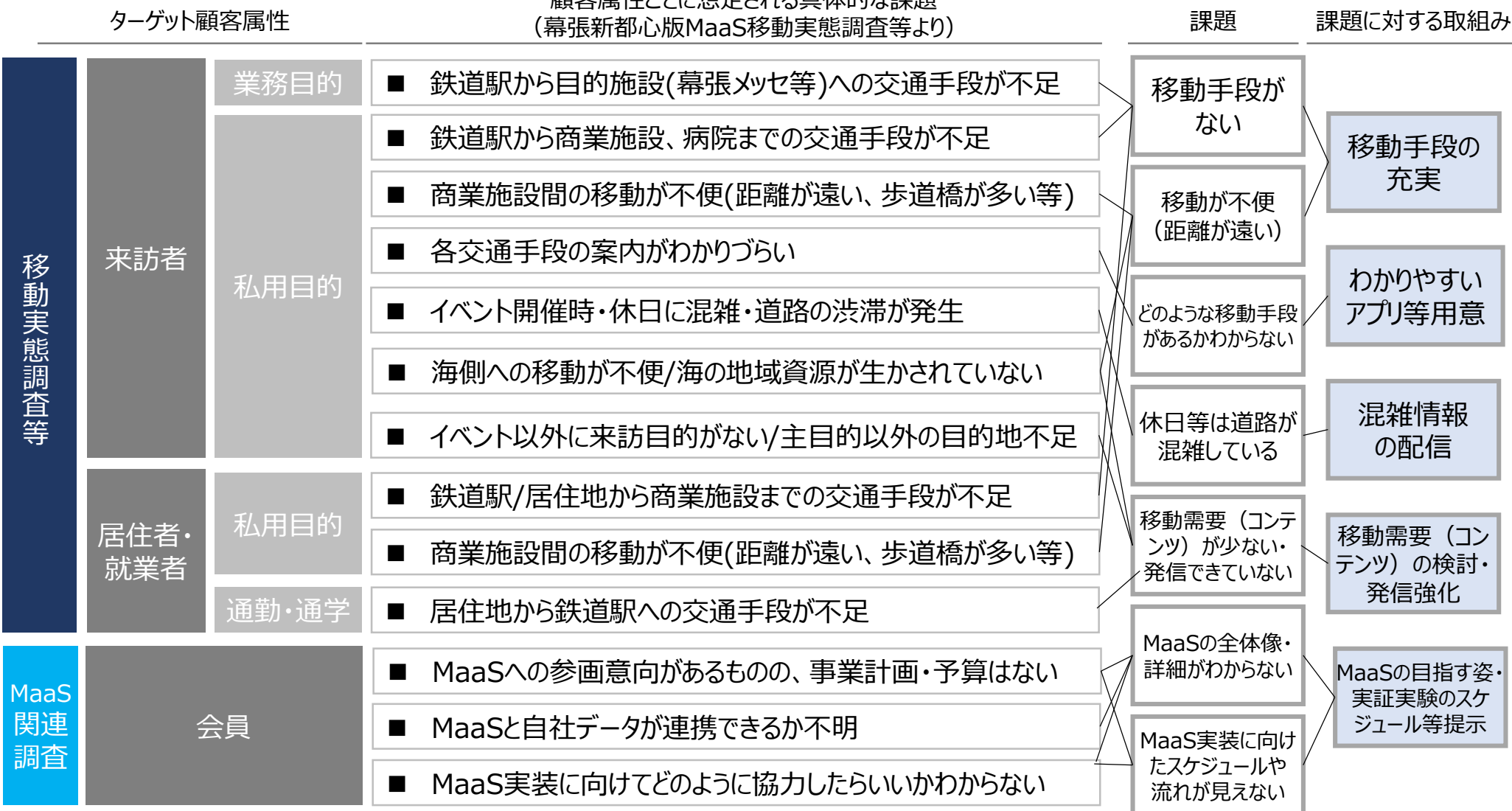
下表は「実装までのロードマップイメージ」を基に作成



幕張新都心において想定される課題

目指すべき幕張新都心版MaaSの検討に当たり、現状を以下のとおり分析。

顧客属性ごとに想定される具体的な課題
(幕張新都心版MaaS移動実態調査等より)



千葉市全体で抱える課題

続いて、千葉市全体で抱える課題についても、各種計画から現状を以下のとおり分析。

属性

各種計画から想定される課題

課題に対する取組み

属性	各種計画から想定される課題	課題に対する取組み				
環境基本計画	環境	モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 二酸化炭素排出量の増加 ■ 大気汚染の悪化／化学物質による環境への影響が発生 ■ 自動車の走行に伴う道路の騒音・振動が発生 	<ul style="list-style-type: none"> シェアサイクルなどの推進による脱炭素化 次世代自動車利用に関する取組推進（電動化）／自家用車への依存度低下 		
		人手不足	<ul style="list-style-type: none"> ■ ごみ収集などの運転員不足 	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転技術などの先端技術を活用 		
		福祉計画	高齢者	移動支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢化の進展に伴う日常生活への支障／閉じこもり傾向あり ■ 屋外での移動が困難な重度の障害者への支援の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の買い物や通院などの支援
障害者	地域防災計画		災害		<ul style="list-style-type: none"> ■ 幕張新都心部は昼間人口が多く災害発生時は二次災害に注意を要する ■ 幕張方面の埋立地は液状化や地盤沈下等の被害を受けやすい ■ 高齢者や外国人等の要配慮者の状況に応じた的確な支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 帰宅困難者等の安全確保対策 多様な伝達手段の確保
来訪者・居住者・就業者		<ul style="list-style-type: none"> ■ 幕張新都心部は昼間人口が多く災害発生時は二次災害に注意を要する ■ 幕張方面の埋立地は液状化や地盤沈下等の被害を受けやすい ■ 高齢者や外国人等の要配慮者の状況に応じた的確な支援が必要 		<ul style="list-style-type: none"> 運転免許自主返納に対する支援措置の拡充 		
交通安全計画		高齢者		交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者が関係する交通事故の発生が多い 	<ul style="list-style-type: none"> パーク&ライド、サイクル&ライドの整備促進／モビリティ・マネジメントの推進
一般	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道路混雑は定時制・速達性等の交通利便性を低下させる要因 	地域公共交通計画	交通結節点		混雑	
接続性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海浜幕張駅とJR総武線との接続が不便 			<ul style="list-style-type: none"> アクセシビリティの向上 		

幕張新都心版MaaSの目指す姿（案）

これまでのコンソーシアム全体での取組みや幕張新都心版MaaS移動実態調査等報告、各種計画から見えてきた課題を踏まえ、幕張新都心版MaaSの目指す姿（案）を以下のとおり設定する。

幕張新都心版MaaSの目指す姿（案）

来訪者や住民、就業者、就学者など様々な属性の方の幕張新都心エリアにおける「**移動需要（イベント、宿泊、観光、購買、医療サービス等）**」に対し、その人のニーズや来訪手段、天候、混雑状況などから分析した最適な「**移動手段（モビリティサービス）**」を提供しつつ、幕張新都心エリア内の魅力ある多様なコンテンツを案内するとともに、誰もがモビリティからコンテンツの利用までの各種手続き（経路検索・予約・決済）をシームレスに行うことができる持続可能な都市型MaaS

幕張新都心版MaaSを実装する目的

・幕張新都心で抱える移動課題の解決を図り、エリア内の回遊性向上及び賑わいの創出を図る

・移動課題の解決と併せて、環境、福祉や交通事故など様々な地域課題の解決も目指す

幕張新都心版MaaSの実現

- 多様なモビリティサービスと幕張新都心の宿泊・観光・購買・医療サービス等を一体的に提供するサービスの実現
- 2023年のJR幕張豊砂駅の開業に合わせたサービス提供を目指す

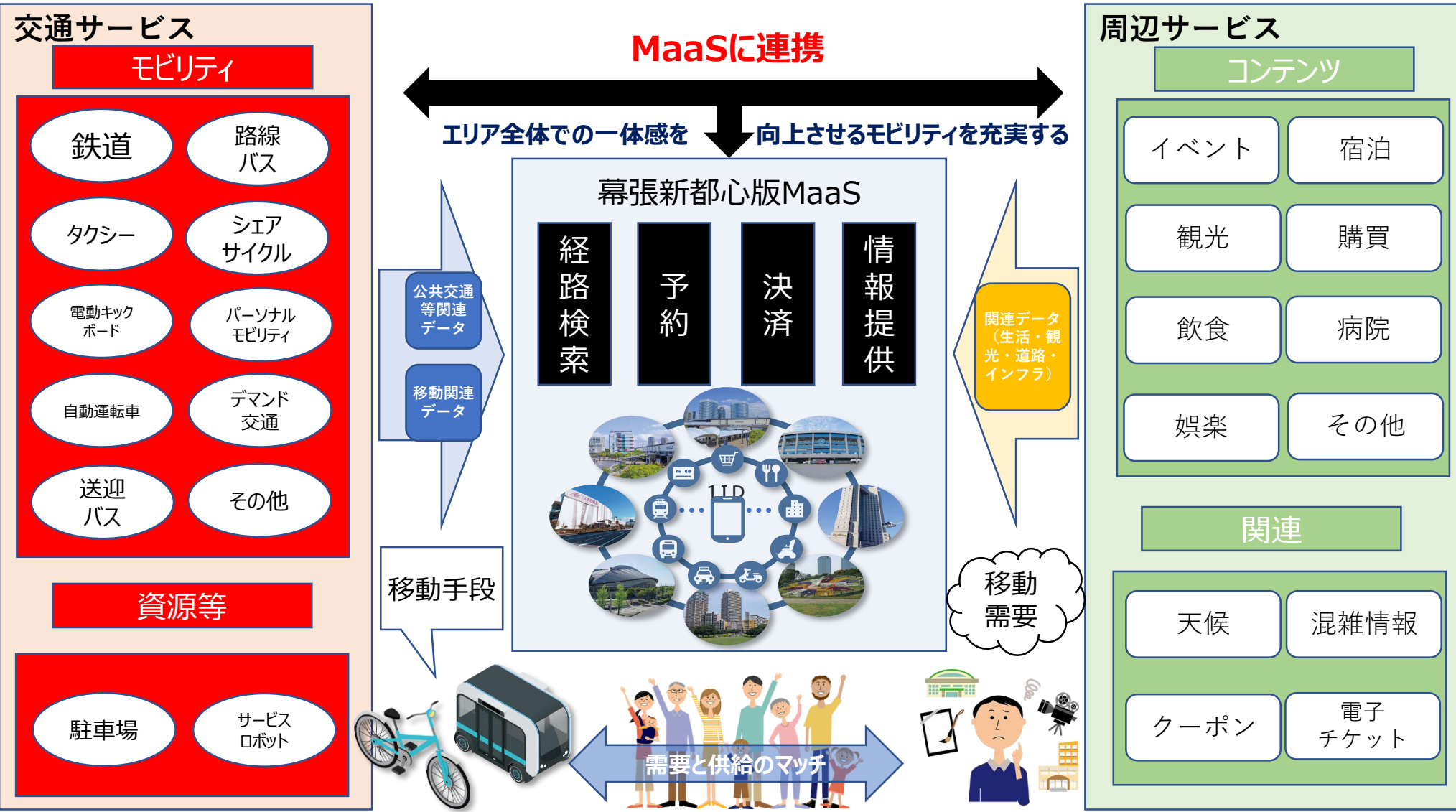


幕張新都心版MaaSの検討状況

幕張新都心版MaaSの目指す姿（案）

※下表はイメージのため実施が決定していないものも掲載

幕張新都心版MaaSの目指す姿（案）の具体的なイメージは以下のとおり。

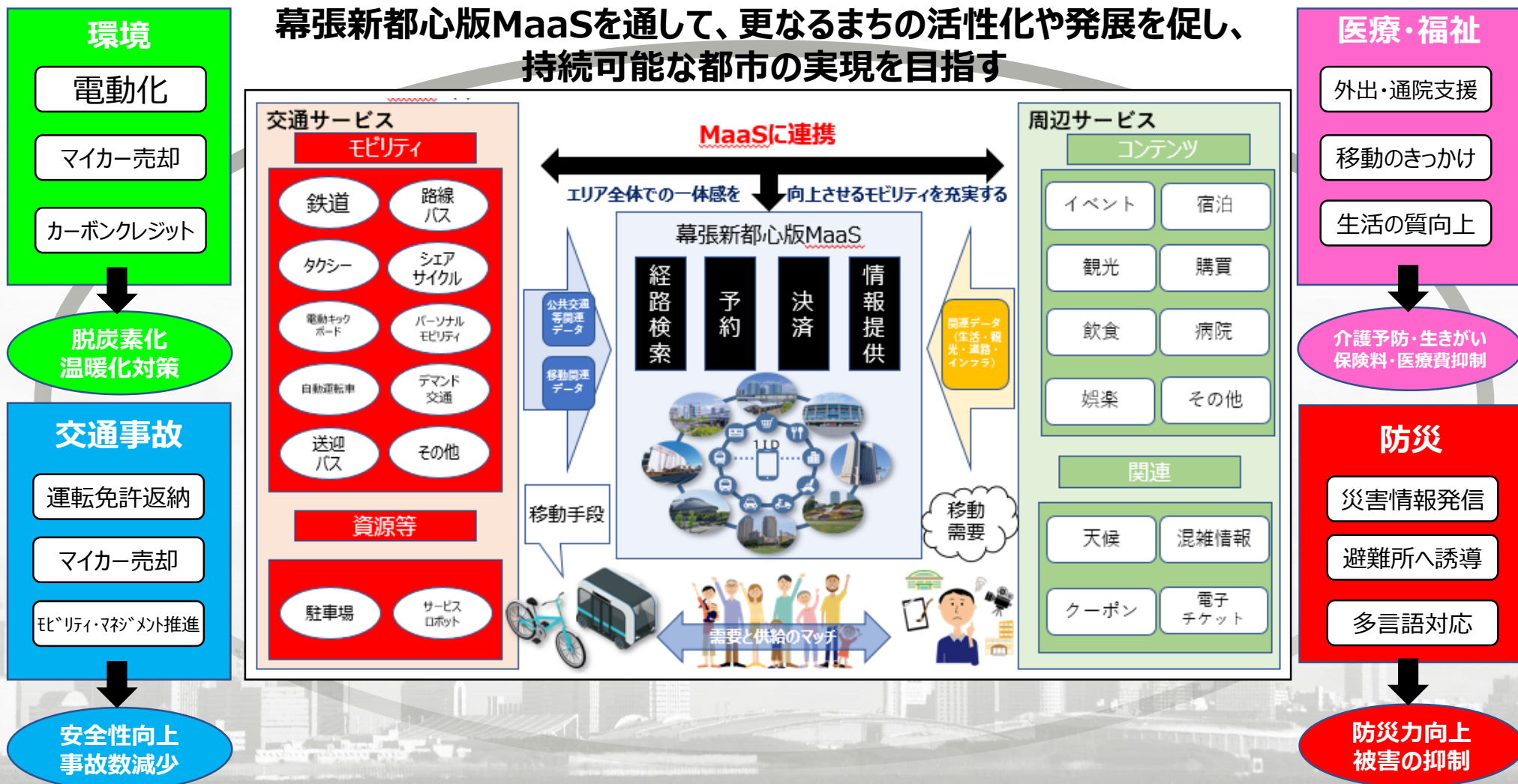


幕張新都心版MaaSの将来像（案）

※下表はイメージのため実施が決定していないものも掲載

長期的な視点で幕張新都心版MaaSにて実現を目指す将来像は以下のとおり。

幕張新都心版MaaSを通して、更なるまちの活性化や発展を促し、持続可能な都市の実現を目指す



幕張新都心版MaaS実証実験の基本的要件（案）

第8回MaaSプラットフォームWGで提示した実証実験に必要な要件の項目に対し、4月下旬に横連携WGの会員を対象に行った意見集約結果を踏まえて整理した幕張新都心版MaaS実証実験の基本的要件（案）は以下のとおり整理した。

今後、以下の基本的要件（案）を仕様に記載した上で、幕張新都心版MaaS実証実験の公募を行っていく。

1 実証全体像

(1) 幕張豊砂駅開業時に目指す姿

- ①幕張新都心の交通結節点としての機能強化（一極集中から多極集中へ）
- ②先端技術を活用した交通体系の最適化を図るとともに、付加価値のある快適な移動を提供
- ③店舗・集客施設への誘客と、各モビリティサービスとの連動

(2) (1)を踏まえた検証すべき事項

- ①MaaS提供により生ずる効果（関係者ごと）検証
- ②幕張新都心でのサービス提供における課題確認
- ③今後の展望（解決すべき事項、連携を図るべき事項、経済的持続性等）
- ④各モビリティサービスの利用状況検証

(3) 各関係者（例 利用者、交通事業者、施設、行政）が実証から得られる（得たい）もの

- （利用者）移動のストレス軽減や快適性向上に寄与するか
- （交通事業者）一元的なサービス提供による効果が発現するか
- （施設）利用者の回遊性向上による効果が発現するか
サービス連携した場合の効果が発現するか（クーポンやレコメンドなど）
- （行政）利用需要がどの程度あるか
今後の展望としてどのような見通しか

(4) スケジュール

- ①2022年度 実証実験時期は指定せず、実証期間を2022年度中に2か月程度とし、年度内に分析を行うものとする。
- ②2023年度 幕張豊砂駅開業と同時期の社会実装を目標として取り組むものとし、その後のサービス機能等の拡張も可とする。

幕張新都心版MaaS実証実験の基本的要件（案）

2 実証にあたっての各要件

(1) プラットフォーム等

- ・ アプリとブラウザの両方があれば望ましい。
- ・ 動作環境やプラットフォームにおけるシステム要件は指定しない。広く住民や来訪者が利用できるものとする。
- ・ 鉄道や路線バス、タクシーなどの既存公共交通及び千葉市シェアサイクル事業との連携は必須としつつ、手続きが円滑にできるように経路検索や予約、決済の機能を備えるとともに、幕張新都心内の店舗・集客施設などの情報を提供できる機能も備えることとする。

(2) 実施エリア

幕張新都心エリアを基本とし、より広域での実施も可とする。

(3) 実施事業者

提案者（共同提案の場合は提案者の一部）がコンソーシアムの会員である場合は、審査において加点する。

(4) 事業者選定

- ・ 千葉市にて選定する
- ・ 審査項目はMaaSで実現できる将来像、実施（連携）体制（ビジネスモデル案を含む）、実証内容（実証時のサービスと拡張時のサービスイメージ、普及啓発等）、スケジュール（実証実験時と実装時）、独自提案、結果検証・展望
- ・ 実証におけるサービス提供や、社会実装が確実に困難であると判断した場合は、次年度は支援を約束しないものとする。

(5) 実証の推進体制

- ・ コンソーシアムとの連携は必須とし、その方法はWGやPTへ参加するとともに、コンソーシアムへの進捗状況を報告するものとする。
- ・ 実証内容に関して、住民、関係者からの意見を実証前から実証後まで随時聴取するものとする。
- ・ 実証の評価指標については、以下の例を示しつつ、事業者選定後にコンソーシアムで協議の上、設定するものとする。

【評価指標の例】

実証前と後で比較できるような値（例 混雑具合）、アプリのダウンロード又はブラウザのアクセス数の推移、各種モビリティ（シェアサイクルや電動キックボード、バス、タクシーなど）の利用状況の変化、回遊状況、コンテンツ利用状況など

アンケート調査

本WG終了後、MaaSプラットフォームP Tに参加される会員を対象に、以下のとおりアンケート調査を行う。

■ アンケート対象項目

- ・幕張新都心版MaaSの目指す姿（案）及び将来像（案）
- ・幕張新都心版MaaS実証実験の基本的要件（案）

■ アンケート回答期限

6月23日（木）17時まで

■ アンケート調査方法

WG終了後に送付するメールに記載の「**Googleフォーム**」から回答

※セキュリティ上、Googleフォームから回答できない会員については、メールでの回答も可。